



あなたの市場価値をプロが無料で査定

INFORMATION

「ITR Report」レポート提供 (ITmedia エグゼクティブ会員限定)
2009年 逆風に立ち向かうIT経営

ニュース (38) **セキュリティ (7)** 企画 (2) 運用 (2) 開発 (3) 事例 (2) リサーチ (3) 経営 (16) ブログ (25) Podcast (0)

エンタープライズ > セキュリティ > ERMへ向かう企業経営：“健全に儲ける”仕組みを構築せよ——J-SOXや金融危機 ...

検索 → ←

機能を選択 ...

[富士通]限られたIT予算で最大限の効果を！ストレージ新技術異なるOSの混在環境で仮想化をシンプルに実現するには



ERMへ向かう企業経営：

“健全に儲ける”仕組みを構築せよ——J-SOXや金融危機がきっかけに

「100年に1度」といわれる金融危機が新たな経営リスクとして浮上した。J-SOX対応も含めてこれらを契機に、利益追求に走らない持続的な経営の実現に向けた戦略的リスク管理の重要性が高まっているという。
2009年02月09日 08時30分 更新 [國谷武史, ITmedia]

本記事の関連コンテンツは、オンライン・ムックPlus「[事業継続性を高めるERM導入のススメ](#)」でご覧になれます。



戸村氏

「100年に1度と言われる金融危機は新たな経営リスク。今こそ“健全に儲け続ける”仕組み作りの重要性が高まっている」——日本ERM経営協会会長の戸村智恵氏は、企業がこれまでに進められてきた内部統制やリスク対策の成果が、J-SOXや金融危機の到来によって試されるようになると指摘する。

例えば投資や企業買収などの財務的な経営活動では、リスク対策の一環としてそのアクションに対するリスクの度合いを定量的に評価するのが一般的だ。しかし、金融危機はこうしたリスク対策をしながらも、その予想を上回るマイナスの影響を数多くの企業にもたらす結果となった。戸村氏は「リスク管理では数字だけの定量評価に依存するのが危険なことだと分かる」という。

「例えるなら金融危機は乱気流。企業と機体を安定飛行させるには、“数字的に儲かる”という視点だけでなく、社是や理念といった定性的な要素をリスク対策の評価指標に入れるべきだろう」(同氏)

多くの企業が会計年度末を目前に控え、J-SOX対応を契機に進めてきた内部統制などの経営健全化の取り組みの成果が試されるといふ。そこでは財務面ばかりではなく、「人」や「モノ」といったほかの経営要素も注目されると同氏はみている。

J-SOX対応が引き金になるリスク

2009年に顕在化する可能性がある経営リスクとして、戸村氏が注視しているものの1つがJ-SOX対応の行為だ。例えば、構築した内部統制の監査結果を「客観的だ」と主張する企業や、適切な事業環境の実現という内部統制の本来の目的を十分に理解しないまま、「自社は大丈夫だ」と思い込んでしまう企業などが、偽装行為に走る恐れがあるという。

さらには金融危機を引き金にした安易なリストラなどの行為によって、企業が隠べいを続けてきた不正行為をうらみを持った元従業員が明るみにしてしまう可能性もある。解雇に不満を持った多数の元従業員が数々の不正行為を告発すれば、企業イメージやブランドに対する社会的な信用が大きく失墜し、その結果経営が行き詰る可能性がある。

上場企業が提出する内部統制報告などに対して、監査法人は「不適正意見」や「意見不表明」を明らかにする。戸村氏は、これらの内容によって投資家や株式市場が見せる反応にも注視する必要があるという。「米国では初年度に慎重な動きが見られたが、国内でも同じようになるのではないかと。不適切意見は上場企業の10%程度、意見不表明は十数社程度あると見ている」(同氏)

Special

PR

体感省電力 「ホットアイル」に熱を閉じ込め集中冷却先進的な施設で『グリーンITの今』を体感！

9万9千円 システム“丸ごと”バックアップ&リストアを「10万円以下」で——その方法は？

Work Flow 【紙文化の電子化】&【会計ソフト連携】手軽に実現するワークフロー！

Special

PR

Lotus ビンチは“チャンス”だ！！ 必見！-強い企業になる為のヒント-

全体最適化 ストレージとフラッシュドライブの融合はどのような恩恵をもたらしてくれるのか？

CIO ITで「不況をチャンスに」変える——この危機の中、CIOが取り組むべきことは？

固定化した文書の管理コストを流動化したい書類の聖域化を防ぐ電子文書管理システム

CPU 【20倍】の負荷を支えるシステムを作る！金融システム構築プロジェクトの舞台裏 **New!**

事業継続 中堅・中小企業でもココまでは、押さえないITサービス継続のためのノウハウ・考え方

RAIDを越えた ファイルベースのデータ、どこに保存する？「RAIDを超える」ストレージにその答えが

「カイゼンツール」が「仕事」を変える——スキャナーを使ってあらゆる業務をこなそう

死活問題 「業務中断」は“死活問題”サービスを自由に組み合わせる柔軟なDRサイトを構築！

ソリューションFLASH

PR

ソリューションFLASH

全社的なコスト削減を実現

競争力向上を一気に進める

文書管理ソリューション

理想の企業への転職を成功させるには？
18問に答えてスカウト転職の可能性を診断

うそっ・・・私の年収、低すぎ？
5分で判定！あなたの適正年収は？

【2009年を乗り切る】

仮にJ-SOX関連の各種報告に虚偽内容があれば、株主による損害賠償訴訟などは必至の事態になる可能性もある。特に大手企業では連結対象子会社や関係会社も含めて、「適切な経営環境をグループ全体で徹底することが望まれる」と戸村氏は指摘している。

リスクの可視化と長期戦略

企業活動におけるリスク対策では、従来は自然災害やテロといった突発的な事象への対処に関心が集まっていた。戸村氏は、金融危機も経営リスクの範囲に入るものであるとし、経営を取りまくさまざまなリスク要因を可視化して、戦略的に対処していく体制を整えるべきだと提起する。

「経営の可視化するという点では、BI(ビジネスインテリジェンス)やSFA(営業支援)といった方法やシステムの登場で、利益や効率性を把握していく考え方が定着しつつある。しかし、これらには内部統制やリスク管理の観点も反映されておらず、今後の可視化経営ではリスクも勘案して、安全や信頼を戦略的に実現させていくべきだろう」(同氏)

リスクの可視化と可視化リスクへ戦略的に対応していく方法を、同氏は「リスクインテリジェンス(RI)」と呼び、その利用には幅広い視点と緊密な組織間連携が欠かせないとしている。RIで先行しつつある米国ではITツールを活用して、戦略的なリスク管理経営を強化させている企業もある。

例えば金融機関では、不正な資金の流れ(マネーロンダリング)や行員の背任行為、不十分な査定(ずさんな業務)の横行といった個々の経営リスク要因の定義と経営に与える影響の深度を総合的に分析し、深度の高いリスク要因へ重点的に対処する。上記の定義に基づいたリスクの発生を検知する、もしくは予兆を知るために、ITツールを活用してアクセス権限の乱用や不審なデータの動向といったさまざまな兆候の監視、分析を行う。「国産のITツールも登場し始め、自社の事業環境などに照らしながらリスクを視覚的に把握できる機能やサービスを導入すべきだろう」(同氏)

J-SOXを契機とした財務の可視化や内部統制は、経営環境を最適化する過程の1つであり、今後は収益獲得や業務推進といった要因にリスク管理を加えて、一元的に遂行する経営が求められるという。

しかし、企業の中にはJ-SOX対応や内部統制が「コスト増大や収益圧迫といったマイナス要因につながる」とみる動きもある。戸村氏は、「利益追求も大事な企業の営みだが、それらと内部統制やリスク管理との整合性が取れない場合や過度な拝金主義が結局は経営に弊害をもたらすと指摘する。今後は、収益戦略と事業戦略(事業活動)、戦略的なリスク管理のバランスを実現し、「健全にもうける仕組み」を作ることが持続的な経営につながる」としている。

関連キーワード

経営 | 内部統制 | SOX法 | 金融危機 | リスクマネジメント | 事業継続

関連記事



日本オラクル、内部統制を支援する「GRC」製品を拡充
日本オラクルは、内部統制支援アプリケーション製品群「Oracle GRC Suite」を発売した。



攻めに転じよ！——日本オラクルが提唱する「戦略的」内部統制
日本オラクルは、法令を順守するだけにとどまらない「戦略的」な内部統制をテーマとしたイベント「Oracle GRC Summit」を開催した。

関連リンク

事業継続性を高めるERM導入のススメ——経営の永続化と安定化へ
エンタープライズ
ITで企業を変革したいビジネスリーダーのための「News」サイト
ITmedia オルタナティブ・ブログ

Copyright© 2009 ITmedia, Inc. All Rights Reserved.

Special



「業務中断」は死活問題、運用管理まで含めたBCP/DRソリューションで防げ
業務の中断は企業活動にとって死活問題だ。キャリア系としてデータセンター事業を手掛けるKVHは、金融機関が認める高信頼性と運用管理の経験を結集し、企業ごとの要件に基づいた柔軟なDRサイトの構築を提案する。

新着記事

生き残りをかけ「Smart」を目指せ：新クラウドサービスで企業インフラを動的管理——日本IBM (2/25 21:47)
現場業務を効率化：スマートフォンで帳票出力、アクシスソフトが新製品 (2/25 19:57)

不況に負けないキャリアアップ転職

セミナー情報

- PR
会社を守る災害対策、できていますか？
中小企業にも実行可能な現実解を探る
- メールセキュリティ
『あなたはすでに被害者かもしれない...』
「職業ハッカー」がプロの技を生公開！
- ゼミ
品質向上の必須要件「セキュリティ確保」
【ソフトウェアテスト春ゼミ】開講！

キャリアアップ

- 転職
今年収で納得できますか？
→自分の適性年収を知る
【ITエンジニア 年収査定】無料
- スカウト
【2008年スカウトランキング】
1位 30歳 600万円 システム開発・設計
2位 25歳 300万円 プログラム



オンライン・ムックPlus

- ストレージ市場の最新トレンド
サーバ統合のキモはストレージにあり
ストレージ仮想化に対する「3つのアプローチ」(2/24更新)
- 企業ITサービスを支えるクラウドサーバ
サーバ仮想化市場、年平均成長率は30%以上超に(2/13更新)
- ワークフロー改革でスピード経営を実現
現場に受け入れられる統制はコレ！
ワークフローを見直すことからインバースションが始まる(1/26更新)
- 企業IT最適化のゴールを目指す
成功するシステムへの羅針盤
パッチジョブ高速化のカギはJavaVMの常駐化にあり(2/23更新)
- 事業継続性を高めるERM導入のススメ
いざという時、動きますか？ ティザスタリカバリの総点検(2/23更新)
- サービスマネジメントの新しい「鼓動」
新クラウドサービスで企業インフラを動的管理——日本IBM(2/25更新)

アクセストップ10

- 過去2日間のアクセストップ10
- 1 マイクロソフト、SaaS型のExchangeとSharePointを国内展開へ
 - 2 Vimperator——FirefoxをVim風のキーバインドで操作
 - 3 新クラウドサービスで企業インフラを動的管理——日本IBM
 - 4 慶大がGoogleブック検索で貴重書を公開 アジア初
 - 5 Google、クラウドサービス「Google App Engine」の有料オプションを発表
 - 6 一番怖い「善良な社員」——情報漏えいを起こさないためには
 - 7 AdobeがFlash Playerの深刻な脆弱性に対処
 - 8 パルヴェエンジン、BlackBerry用ドキュメントビューワを発売
 - 9 IT情報サイト「eWEEK」、悪質サイトの広告掲載
 - 10 2月のMS月例パッチ公開、IEとExchangeなどの脆弱性に対処

ランキングトップ30